

滄浪

学校だより
そうろう



家庭教育と親の役割

校長

家庭教育の教育力の低下が言われて久しいですが、子どもを養育する基本の場は家庭であり、保護者であることは自明のことです。

そこでは、基本的な生活習慣や道徳観、生活に必要な知恵や技能を身に付けさせます。今、そのことが十分に機能しなくなり、低下しているのではないかと思われます。

家庭の教育は日々の営みです。従って、親の意思に左右されることなく、親と子どもが果たすべき役割として、親が示す教育と言えます。

ただ、家庭の機能には教育的機能だけではなく、情緒的機能もあり、そこに行けば安全で平和で、何でも話せる、子どもにとって「安らぎ」「つらさ」「ゆとり」の場としての機能を持つことは重要です。

家族が語り合い、役割分担を果たすことで、親と子が共に生活してはいると、感じるようになって安らぎの場となるのではないのでしょうか。

先人は「養子不教父之過」と言っています。衣食住を与えて育てるだけ、親の過ちであると言っています。

が、家庭は生活の場だけでなく、家族が相互に愛情と連帯感をもつて心豊かに過ごす空間です。未来に生きる子どもたちも、その基盤である家庭の役割を今一度、見直すことも大切ではないでしょうか。

イモ植え

いつもより早い梅雨入りに急かされるように、今年もイモ植えを一日に実施しました。本校駐車場横の学校農園にイモを栽培しています。本年度も昨年同様、地域の農家にイモの苗を提供して頂き、全校児童でイモの苗を植えました。

昨年は予想を上回るイモの大きさと量の収穫がありましたので、今年も秋の収穫ができるのではと今から教員共々楽しみにしています。



念願の一勝

三日、アリーナで開催されました。小学部、中学部、大会に、寄田小と滄浪小の五、六年生が合同チームで出場しました。

ここ数年、一試合どこか一セットも勝利から見放されてきました。今年、今年は一セット一試合勝利を目指して、有終の美を飾ろうと合同練習を強化して取り組みました。その練習が効いて、Bプロットで二試合対戦して一勝を得ました。子どもたちも職員も応援に駆けつけた保護者の方も大喜びの勝利となりました。



プール開き

水泳学習に先駆けてプールの開きがありました。使用開始に、今年初の安全祈願を行いました。二名と校長で行った。開会式では水泳学習の大切さを確認や自分の目標に向けてがんばることの大切さを強調されました。

当日は、水温、気温とも前日から雨の影響で高くなかったため、早しみに入水を切り上げました。水に親しむ命を守る泳力向上を願います。



薩摩川内元氣塾で桂竹丸師匠公演

本年度第一回となる寄田小・滄浪小の薩摩川内元氣塾で桂竹丸師匠をお招きしてご公演頂き、開催いたしました。

当日は午前九時から開始でありました。桂竹丸師匠は、間前までは駐車場に着き、格闘技の先ず驚かされました。

寄田小、滄浪小の子ども他、近隣の地域の子どもも多数ご参加頂き、プロの芸である話術に会場が楽しい笑いに包まれました。

桂竹丸師匠は、初めに楽い話で笑いを取った後、伝統芸である落語「牛もたれ」を披露されました。子どもたちも初めから目を輝かせ、世界に引き込まれていました。

どもたちを舞台の上で披露する姿を披露したり、南京玉すだれ、芸を披露したり、約一時間楽しかったです。

桂竹丸師匠の、大ブアンにありがとうございました。



(サインと札状)



母校で教育実習

滄浪小学校の卒業生が、教員免許取得のための教育実習に本校で取り組みました。今年六月から十七日までの二週間、二年生担任の道添先生の指導の下、児童の学校生活指導方法を学ぶ機会がありました。

子どもたちと向き合い、指導する術を身に付けたいと、後輩教師の誕生を望む先生方も、この機会に本校で教育実習を体験し、指導の大切さを学びました。

最終日には、評価授業として、数科の授業を本校職員が観念し、堂々と取り組みました。忙しい中、指導に努められた教員先生や他の先生方も、期待に応えることができたと思います。

出身の先生方も、後輩教師の誕生を望みます。



七月行事等予定

5日	校内水泳大会
7日	学期末PTA 教育相談 着衣泳
8日	第二回薩摩川内元氣塾 (寄田小)
13日	綱引きの旗を作ろう (寄田小)
14日	市図画作品審査会
18日	海の日祝日
20日	一学期終業式 集団下校
21日	夏季休業
22日	市小学校水泳記録会
P.T.A	プール開放
7/25	
7/29	